

景観エリアリノベーション キックオフシンポジウム

-中島川・寺町エリアの低未利用不動産を活用した地域活性化-

日時

令和8年 8月12日(水)
18:00~20:00 [17:30開場]

会場

長崎市役所2階 市民利用多目的スペース
長崎市魚の町4-1

対象

地域関係者、不動産関係者、事業者、市民活動
団体、中島川・寺町エリアに関心のある方等

定員

先着100名[参加費無料]

●プログラム

18:00 開会・あいさつ

長崎市長 鈴木 史朗

18:05 景観エリアリノベーションについて

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 課長補佐 平田 晃久

18:15 アルコア中通り商店街の現状と課題

長崎市中通り商店街振興組合 理事 近金 幸太郎

18:25 長崎市における景観エリアリノベーションについて

長崎市 まちづくり部 まちなか事業推進室 室長 浦 紳也

18:35 基調講演「低未利用不動産を活用した地域活性化」

NPO法人福岡ビルストック研究会 理事長 吉原 勝己

19:25 パネルディスカッション

NPO法人福岡ビルストック研究会 理事長 吉原 勝己

長崎市中通り商店街振興組合 理事 近金 幸太郎

インバウンドガイド/コンテンツクリエイター 品川 正之介

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 課長補佐 平田 晃久

長崎市 まちづくり部 景観推進室 係長 平山 広孝[進行役]

20:00 閉会・あいさつ

長崎市中通り商店街振興組合 理事 岩永 徳二



●ゲスト講師

吉原 勝己

NPO法人福岡ビルストック研究会 理事長
吉原住宅有限会社 代表取締役
株式会社スペースRデザイン 代表取締役

1961年福岡市中央区清川生まれ。西南学院中学・福岡高校・九州
大学理学部卒業後、旭化成医薬で臨床研究を17年行う。2000年
老朽ビルによる経営危機の吉原住宅を継いで以来、2003年博多
区「山王マンション」から賃貸リノベーション事業に取り組む。

そのビル再生過程で、ひとつのつながりが生み出されることに着目し、経年優価「ビンテージビル」の概念を確立。賃貸住宅の課題を社会課題解決事業ととらえ、その象徴、博多区上川端の築67年「リノベーションミュージアム冷泉荘」は文化発信・地域交流の拠点となり「福岡市都市景観賞」を受賞。2024年「国登録有形文化財」に戦後RC民間集合住宅で国内初の登録。2025年より文化庁「国立近現代建築資料館 建築文化フェロー」に就任。

これまでの25年間で福岡市内60棟の老朽物件の経営再生を事業として手掛ける。また主催する「九州DIYリノベWEEK」では、自分たちのまちは自分たちで創ろう！をビジョンに、九州24都市のまちづくりプロジェクトマネージャーと、300棟の老朽団地、廃墟ビル、廃病院、廃銀行、シャッター商店街、空き家等の再生をフォローし、国土交通省「第2回 地域価値を共創する不動産業アワード大賞」のグランプリを受賞。

そこから見えるのは、地元の人たちが休眠不動産を活用し、まちの人たちを巻き込みながら市民生活の価値変革を起こし、まちを活性化する姿であり、これからの人口減少・社会縮小時代における、まちの資源としての休眠不動産のあり方と、そこから見える九州・長崎の新たなポテンシャルをお話させて頂ければと思います。



詳細・申込



QRコードは
機読センサーの登録商標です。

主催:長崎市 まちづくり部 まちなか事業推進室 共催:長崎市中通り商店街振興組合
[お問い合わせ]電話:095-829-1178 メール:machinaka@city.nagasaki.lg.jp